

2018年8月10日

上場会社名 原田工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6904 URL <http://www.harada.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 章二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部長兼管理本部長 (氏名) 佐々木 徹

TEL 03-3765-4321

四半期報告書提出予定日 2018年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|------|------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期第1四半期 | 10,678 | 0.6 | 262 | 59.3 | 334 | 57.3 | 255 | 52.4 |
| 2018年3月期第1四半期 | 10,744 | 4.5 | 645 | 49.3 | 782 | 511.2 | 537 | 165.9 |

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 450百万円 (%) 2018年3月期第1四半期 26百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期第1四半期 | 11.76 | |
| 2018年3月期第1四半期 | 24.69 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期第1四半期 | 33,074 | 12,971 | 39.2 | 596.39 |
| 2018年3月期 | 34,330 | 13,639 | 39.7 | 627.09 |

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 12,971百万円 2018年3月期 13,639百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年3月期 | | 0.00 | | 10.00 | 10.00 |
| 2019年3月期 | | | | | |
| 2019年3月期(予想) | | 0.00 | | 7.50 | 7.50 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当7円50銭 記念配当2円50銭

2019年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当7円50銭

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 21,000 | 2.4 | 850 | 27.1 | 800 | 39.7 | 550 | 32.6 | 25.29 |
| 通期 | 42,000 | 2.2 | 2,100 | 6.8 | 2,000 | 14.9 | 1,400 | 82.2 | 64.37 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年3月期1Q | 21,758,000 株 | 2018年3月期 | 21,758,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2019年3月期1Q | 7,099 株 | 2018年3月期 | 7,098 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2019年3月期1Q | 21,750,901 株 | 2018年3月期1Q | 21,750,949 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

(日付の表示変更)

当第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (四半期連結貸借対照表関係注記) | 7 |
| (セグメント情報) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、良好な雇用情勢の継続や設備投資の好調等により堅調に推移いたしました。欧州では雇用環境、個人消費等の改善に支えられた景気の拡大が続いております。アジアにおいては、中国では輸出は堅調に推移したものの、個人消費の伸びはやや減速となり、アセアン地域においては、総じて堅調な内需や海外経済の回復を背景とした好調な輸出により、堅調に推移いたしました。

日本国内経済につきましては、輸出、個人消費の持ち直しや雇用、所得情勢の堅調さを背景とした緩やかな回復が続いております。

当社グループの属する自動車業界におきましては、自動車の生産台数が日本では増産となったものの、アジア、北中米、欧州の各地域で減産となり、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ減産となりました。

このような状況のもと、長期ビジョンである「HARADA NEXSTAGE 19」達成のための二つの柱である「競争の優位性の強化」と「最適な企業基盤の確立」を目指し、各領域における施策を推進すると共に、これまで実施してまいりました「コスト構造改革」を継続して推進し、「材料費の削減」、「工場生産性の改革」等の諸施策に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、実質的に前年水準を保ったものの為替の影響により減少し、106億78百万円（前年同期比0.6%減）となりました。利益面につきましては、販管費率は改善したものの、売上原価率の上昇により、営業利益は2億62百万円（同59.3%減）となりました。また、経常利益は営業利益額の減少等により3億34百万円（同57.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は2億55百万円（同52.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①日本

自動車生産台数の増加を背景とした拡販活動等により、外部売上高は35億31百万円（同6.0%増）、セグメント間の内部売上高は8億78百万円（同21.6%減）、営業利益は、売上高は増加したものの売上原価率の上昇により1億51百万円（同34.4%減）となりました。

②アジア

アジアセグメントにおいて60%以上の売上高を占める中国市場での自動車生産台数の減少等により、外部売上高は27億86百万円（同1.7%減）、セグメント間の内部売上高は29億9百万円（同8.8%減）、営業損失は1億23百万円（前年同期は営業利益1億94百万円）となりました。

③北中米

北米市場における自動車生産台数が減少する中、拡販活動等により現地通貨単位では増収となったものの、為替の影響等により、外部売上高は33億12百万円（前年同期比2.8%減）、セグメント間の内部売上高は19百万円（同24.0%増）、営業利益は1億84百万円（同13.8%増）となりました。

④欧州

欧州市場での自動車生産台数の減少等により、外部売上高は10億47百万円（同10.4%減）、セグメント間の内部売上高は1億25百万円（同43.8%減）、営業利益は2百万円（同94.1%減）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

（2）財政状態に関する説明

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は255億35百万円（前連結会計年度末265億62百万円）となり、10億27百万円減少いたしました。これは主に「現金及び預金」が3億79百万円、「原材料及び貯蔵品」が3億円、「受取手形及び売掛金」が1億98百万円減少したことによるものであります。固定資産は75億39百万円（前連結会計年度末77億67百万円）となり、2億28百万円減少いたしました。これは主に「有形固定資産」が2億16百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は330億74百万円（前連結会計年度末343億30百万円）となり、12億55百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は185億74百万円（前連結会計年度末186億28百万円）となり、53百万円減少いたしました。これは主に「支払手形及び買掛金」が5億27百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が4億90百万円増加し、「未払法人税等」が6億50百万円、「短期借入金」が1億89百万円、「その他」に含まれる「未払費用」が1億34百万円、「未払金」が1億18百万円減少したことによるものであります。固定負債は15億28百万円（前連結会計年度末20億62百万円）となり、5億34百万円減少いたしました。これは主に「長期借入金」が5億円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は201億2百万円（前連結会計年度末206億90百万円）となり、5億87百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は129億71百万円（前連結会計年度末136億39百万円）となり、6億67百万円減少いたしました。これは主に「為替換算調整勘定」が7億8百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期連結業績予想につきましては、2018年5月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,616,296 | 7,236,365 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,039,027 | 7,840,061 |
| 商品及び製品 | 5,021,495 | 4,855,234 |
| 仕掛品 | 647,985 | 676,923 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,444,457 | 4,143,684 |
| その他 | 814,547 | 803,665 |
| 貸倒引当金 | △21,181 | △20,421 |
| 流動資産合計 | 26,562,627 | 25,535,514 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 5,071,120 | 4,854,671 |
| 無形固定資産 | 337,030 | 324,156 |
| 投資その他の資産 | 2,359,703 | 2,360,621 |
| 固定資産合計 | 7,767,855 | 7,539,449 |
| 資産合計 | 34,330,483 | 33,074,964 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,242,114 | 3,769,180 |
| 電子記録債務 | 701,798 | 667,288 |
| 短期借入金 | 10,420,003 | 10,230,768 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 112,500 | 602,500 |
| 未払法人税等 | 2,052,388 | 1,401,389 |
| 賞与引当金 | 323,342 | 453,850 |
| 役員賞与引当金 | 41,875 | 8,375 |
| その他 | 1,734,267 | 1,441,419 |
| 流動負債合計 | 18,628,288 | 18,574,771 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,500,000 | 1,000,000 |
| 退職給付に係る負債 | 167,702 | 154,925 |
| その他 | 394,690 | 373,288 |
| 固定負債合計 | 2,062,392 | 1,528,214 |
| 負債合計 | 20,690,681 | 20,102,985 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,019,181 | 2,019,181 |
| 資本剰余金 | 1,859,981 | 1,859,981 |
| 利益剰余金 | 9,455,477 | 9,493,659 |
| 自己株式 | △2,343 | △2,344 |
| 株主資本合計 | 13,332,297 | 13,370,477 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 31,082 | 30,315 |
| 為替換算調整勘定 | 379,882 | △329,004 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △103,461 | △99,810 |
| その他の包括利益累計額合計 | 307,504 | △398,499 |
| 純資産合計 | 13,639,801 | 12,971,978 |
| 負債純資産合計 | 34,330,483 | 33,074,964 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 10,744,843 | 10,678,744 |
| 売上原価 | 7,960,579 | 8,386,367 |
| 売上総利益 | 2,784,264 | 2,292,376 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,139,178 | 2,029,893 |
| 営業利益 | 645,086 | 262,483 |
| 営業外収益 | | |
| 為替差益 | 88,818 | 74,590 |
| 受取保険金 | 64,644 | — |
| その他 | 30,704 | 44,054 |
| 営業外収益合計 | 184,167 | 118,644 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 40,075 | 45,641 |
| その他 | 6,354 | 901 |
| 営業外費用合計 | 46,429 | 46,543 |
| 経常利益 | 782,824 | 334,584 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 970 | — |
| 特別利益合計 | 970 | — |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 1,030 | 954 |
| 固定資産除却損 | 350 | 868 |
| その他 | 97 | — |
| 特別損失合計 | 1,479 | 1,823 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 782,315 | 332,760 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 324,860 | 134,102 |
| 法人税等調整額 | △79,555 | △57,032 |
| 法人税等合計 | 245,305 | 77,070 |
| 四半期純利益 | 537,010 | 255,690 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 537,010 | 255,690 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 537,010 | 255,690 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,092 | △767 |
| 為替換算調整勘定 | △571,784 | △708,887 |
| 退職給付に係る調整額 | 3,510 | 3,651 |
| その他の包括利益合計 | △563,181 | △706,003 |
| 四半期包括利益 | △26,171 | △450,312 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △26,171 | △450,312 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係注記)

偶発債務（移転価格税制関係）

当社の連結子会社である大連原田工業有限公司は、当社及び当社の連結子会社との取引に関し、中国税務当局による移転価格税制に係る調査を受けており、当社は現時点で発生の可能性が高いと予想される追徴税の負担見込額を未払法人税等として計上しております。現時点においては、調査の最終的な結果を得ておらず、当社が見積り計上した金額以上の負担の有無及びその金額は今後の交渉状況等によることとなります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 日本 | アジア | 北中米 | 欧州 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 3,332,858 | 2,834,903 | 3,408,272 | 1,168,808 | 10,744,843 | — | 10,744,843 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,120,294 | 3,191,706 | 15,482 | 223,042 | 4,550,525 | △4,550,525 | — |
| 計 | 4,453,152 | 6,026,610 | 3,423,754 | 1,391,851 | 15,295,368 | △4,550,525 | 10,744,843 |
| セグメント利益 | 230,722 | 194,914 | 161,747 | 44,096 | 631,480 | 13,606 | 645,086 |

(注) 1. セグメント利益の調整額13,606千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が1,030千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 日本 | アジア | 北中米 | 欧州 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 3,531,901 | 2,786,827 | 3,312,754 | 1,047,260 | 10,678,744 | — | 10,678,744 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 878,329 | 2,909,763 | 19,191 | 125,269 | 3,932,553 | △3,932,553 | — |
| 計 | 4,410,231 | 5,696,590 | 3,331,945 | 1,172,530 | 14,611,298 | △3,932,553 | 10,678,744 |
| セグメント利益又は損失(△) | 151,445 | △123,352 | 184,033 | 2,615 | 214,742 | 47,740 | 262,483 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額47,740千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が954千円であります。